

鉱山保安情報<MS編>

(平成27年4月8日号)

鉱山保安MS構築の第1段階「**リスクアセスメント(RA)**」について情報提供します！

鉱山保安MS(うちRA)に関するワンポイント情報！ 【第7回】～**残留リスクについて適正な 評価・管理を行おう**～



リスクアセスメントの重要なポイントの第三は、「**リスク低減措置実施後の検証**」です。措置後にリスクを低減できているか、新たなリスクが発生していないか、残留リスクや保有したリスクは管理されているかを評価し、追加の措置を検討します。

①決められた優先度に従ってリスク低減措置を実施しているか

②リスク低減措置の効果があるか評価

③残留リスク評価と継続検討事項

危険性又は有害性と発生のおそれのある災害(～なので、～して、～になる)	考えられる主な原因	重篤度	可能性	リスクレベル	リスク低減措置案	重篤度	可能性	リスクレベル	残留リスク等(継続検討事項)
クローラードリルから降りるとき手が滑り、はしごから落下して足を骨折する。	・手すりが滑りやすい	中	小	気になる	・手すり、ステップの三点支持について周知徹底する ・手すりにすべり止めテープを貼る	中	小	気になる	三点支持の継続周知とすべり止めの張替えが必要
プラントホッパー付近でダンプが後進したとき、プラント担当者が全身をダンプに巻き込まれて死亡する。	・危険軽視によるプラント担当者の接近 ・後方の死角	大	大	すごく心配	・ミラーの設置とKY教育の実施(H24.9済)	大	中	心配	接近頻度は変わらないため、リスクは潜在。毎朝のKY時に継続周知する
発破警戒位置で待避していたが、発破による飛石が頭に当たって死亡する。	・孔曲がり ・不適切な退避位置	大	中	心配	・穿孔曲がり発生時には必ず報告し、その孔は使用しない、退避位置の再考など、作業手順の見直しと周知(H25.9済) ・ヘルメット着用を徹底	小	小	気になる	報告漏れにより、曲がった孔に装束するリスクは潜在(穿孔発破作業手順の徹底状況を保安会議の審議事項とする)

Q5:残留リスクがどうしても残るんだけど？

A5:鉱山労働者に「○○に○○というリスクが残っている」ことを周知し、必要な保安教育を行う等の「**暫定措置**」を実施したうえで、**リスクの存在を管理**しましょう。その後、制約が解消された時点で設備的対策等の恒久措置を検討し、保安計画に反映させるなど、計画的に解決を図ることが大切です。

※残留リスクや保有したリスクについて、技術上の制約等を理由に措置を実施済みという取扱いにすることはやめましょう。

詳しくは

「**鉱山保安マネジメントシステム**」の構築と有効性向上に向けた手引書

http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/mine/files/tebikisyo.pdf

p.30～41 第3章 1. リスクアセスメント等に関するガイドライン **第11条～第12条**